

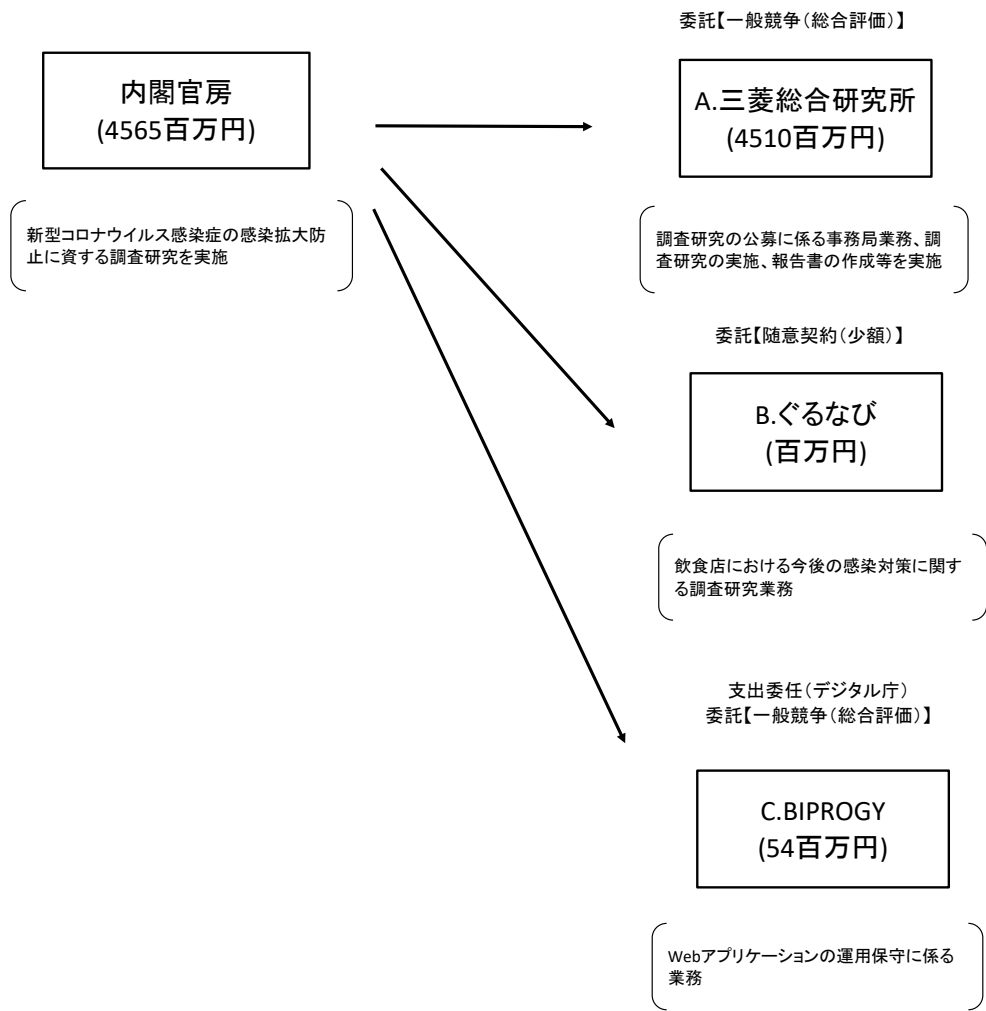
事業番号

2023 - 官房 - 22 - 0021

令和5年度行政事業レビューシート			(内閣官房)				
事業名	スマートライフ実現のためのAIシミュレーション		担当部局	内閣官房副長官補		作成責任者	
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	新型コロナウイルス等感染症対策推進室	内閣参事官 三戸 雅文	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年法律第31号)第3条等		関係する計画、通知等	-			
政策	-		主要経費	その他の事項経費			
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的(5行程度以内)	企業やアカデミア等におけるAI等を活用した感染拡大の早期探知に係るデータ収集・分析やシミュレーションの実施、感染防止対策に資する新技術の開発、その結果を社会実装するための検証等を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と経済活動の両立を図る。						
現状・課題(5行程度以内)	政府として新たな行動制限は行わない中で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と経済活動両立を図るためには、withコロナに資する合理的な感染対策のエビデンスが重要である。						
事業概要(5行程度以内)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止と経済社会活動の両立を実現するため、SNS等のデータをAI等を用いて分析すること等による感染拡大の早期探知・予測の方策や、感染症対策に資する新たな技術の確立に向けた調査研究を行う。						
事業概要URL	https://www.covid19-ai.jp/ja-ip/						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	4,423	4,720	2,404	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	11,071	4,686	2,339	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 11,071	▲ 4,686	▲ 2,339	-	-
		予備費等(E)	8,086	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,438	11,105	4,751	2,339	-
		執行額(G)	1,417	11,132	4,565	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	99%	100%	96%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	32%	236%	190%	-	-
		令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)	
(項)							
(目)							
	計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)		企業・アカデミアにおいて、新型コロナウイルス感染症対策に資する技術に関する研究開発や感染状況のシミュレーションを実施するとともに、感染状況の分析に必要なデータの購入とその分析を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		調査研究の実施とその成果報告	実施した調査研究のテーマ数	活動実績	件	12	29	38		
				当初見込み	件	10	10	20	8	
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		多角的な視点から研究を実施しファクトを整理することで、合理的な新型コロナウイルス感染症対策を検討できるため。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
		効果的な感染拡大防止策及び感染拡大防止に配慮した新しい生活様式の実現		成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「富岳」を用いた飛沫シミュレーションの実施結果のイベント開催制限等のあり方の検討における活用 等								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		新型コロナウイルス感染症については、感染状況や社会経済活動の状況が時々刻々と変化するため、一意に定量的な成果目標、成果指標を設定することは困難である。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		企業・アカデミアが研究開発した技術の導入・実証や感染状況シミュレーション結果の政策への反映を行う事業であるため複数設定は困難。								
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等		名称								
		URL								
		該当箇所								
事業所管部局による点検・改善										
点検結果		新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立は社会全体の課題であり、国において対策を講ずることが適当である。政策立案に当たって具体的な対策の効果をシミュレートすることは必要かつ適切な手段である。本事業で実施したシミュレーションの結果等が、新型コロナウイルス感染症対策に活用されていることから本事業の意義は証明されている。					目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)			
改善の 方向性		新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、シミュレーション内容や規模を精査することが必要。								

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託研究費	ウイルスコロナ時代の実現に向けた主要技術の実証・導入に向けた調査研究業務	4,510	委託研究費	飲食店における今後の感染対策に関する調査研究業務	1
計		4,510	計		1
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
支出委任(デジタル庁)	Webアプリケーションの運用保守に係る業務	54			
計		54	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社三菱総合研究所	6010001030403	With コロナに向けた合理的な感染対策への見直し等に資する調査研究業務	4,510	一般競争契約 (総合評価)	1	-	<small>※本表については、本庁業務の概要及び入札の状況が必ずしも正確なものであるとは限りません。一者応札については、落札候補者数も併せて、落札の理由を記載して掲載しております。一者応募については、競争性のない随意契約となった理由を併せて記載し、競争性のある契約とならなかった理由を併せて記載しております。また、競争性のない随意契約となった理由を併せて記載しております。また、競争性のない随意契約となった理由を併せて記載しております。</small>

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社ぐるなび	1010001034565	飲食店における今後の感染対策に関する調査研究業務	1	随意契約(少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	BIPROGY株式会社	2010601029542	Webアプリケーションの運用保守に係る業務	54	一般競争契約 (総合評価)	1	-	<small>※本表については、本庁業務の概要及び入札の状況が必ずしも正確なものであるとは限りません。一者応札については、落札候補者数も併せて、落札の理由を記載して掲載しております。一者応募については、競争性のない随意契約となった理由を併せて記載し、競争性のある契約とならなかった理由を併せて記載しております。また、競争性のない随意契約となった理由を併せて記載しております。</small>
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	